

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2023年4月20日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 理学研究科

職 名 理学研究科長

氏 名 田中 耕一郎

助成の種類	令和4年度・社会連携助成		
事業名	女子中高生および大学生による理学探究活動推進事業		
実施期間	2022年7月7日 ～ 2023年3月31日		
実施場所	オンライン、理学研究科セミナーハウス		
参加者	総数 237名	内訳 女子中高生224名、 女性研究員・大学生のべ13名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(小冊子2種類)		
会計報告	事業に要した経費総額	4,283,998 円	
	うち当財団からの助成額	2,000,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 運営費	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費目	金額 (円)	財団助成充当額 (円)
	印刷・製作費	2,083,080	245,480
	給与・謝金	1,160,593	714,195
	物品費	897,555	897,555
	その他	117,810	117,810
	通信運搬費	24,960	24,960
合計	4,283,998	2,000,000	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。)柔軟な運用ができる形で、ご支援いただきましてありがとうございます。		

成果の概要／田中 耕一郎

名称：女子中高生および大学生による理学探究活動推進事業

概要：

京都大学理学部における女性学生比率の向上を目指して、女子中高生の理学への興味関心の一層の喚起と理学部での生活や将来への視野の理解の向上を目的として、主にオンラインで、また対面によるイベントも取り入れ、主に4つの事業を実施した。

1. 事業の日時等

(1) 理系女子高生オンライン塾 2022

日時：2022年7月26日（火）9:30～16:30

場所：オンライン（Zoom）

(2) 女子高生向け理学探究活動推進事業 COCOUS-R（ここ あす あーる）

日時：2023年3月7日（火）、8日（水）、9日（木）、14日（火）、15日（水）、
16日（木）、22日（水）、23日（木）、28日（火）、29日（水）、30日（木）

場所：オンライン（Zoom）

(3) 理学女子会

- ・対面での会議

日時：2022年11月29日（火）、12月22日（木）

場所：理学研究科1号館応接室、総合研究5号館B14学際社会交流室

- ・理学女子ランチ会

日時：2023年2月14日（火）

場所：理学研究科セミナーハウス

- ・女子高生のための京都大学理学部案内－宇宙&生物－

日時：2023年3月5日（日）

場所：理学研究科セミナーハウス

- ・理学部・理学研究科の公式インスタグラムの運用開始を提案
2023年3月31日（金）に初投稿。

(4) 京都大学理学部紹介冊子「京大理で学ぼう。」を発行

発行日：2023年3月31日 紙媒体 B5サイズ 3000部

WEB ページ <https://sci.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publications/manabo> で一般公開

2. 内容

女子中高生向けのイベント実施や冊子制作を行う一方で、理学部・理学研究科の主に学生からなる理学女子会を結成した。

(1) 理系女子高生オンライン塾 2022

理学研究科と生命科学研究科とで実施し、98名の女子高校生の参加者があった。

(2) 女子高生向け理学探究活動推進事業 COCOUS-R

実質人数45名の京都大学理学部や京大理系学部を志望する女子中高生が参加し、のべ64名の女子中高生がZoom会議に参加した。本事業実施に当たっては、学校参加として、女子中高生を指導する高校教員にも連絡をとりながら事業実施を進める体制を取っている。

(3) 理学女子会

研究員1名および学生4名の女性からなる理学女子会を結成した。電子掲示板Slackによる情報交換の他、対面で集まり会議を行い、理学女子会から下記のことについて提案がなされ、実施された。

・理学女子ランチ会

理学部・理学研究科の女性学生8名が集い、お互いがもつ情報について交換した。

・女子高生のための京都大学理学部案内 「宇宙&生物」

「女子高生のための京都大学理学部案内 「宇宙&生物」」を2023年3月5日に開催し、合計81名（第1部49名、第2部32名）の女子中高生の参加者があった。

・理学部・理学研究科 公式Instagram

3月31日より、理学部・理学研究科 公式Instagram

https://www.instagram.com/kyodai_science/

の運用を開始した。

(4) 珠玉の少女まんが進化形フラワーズ（小学館）に連載中「数字であそぼ。」と特別コラボレーションをして、冊子「京大理で学ぼ。」を紙媒体（B5サイズ、20ページ、3000部）発行およびデジタルブック作成をした。

3. 成果

イベント参加者へのアンケートでは、京都大学への入学希望の度合いで、イベント参加前から参加後に「とても入学したい」が大きく増え、実りある事業を実施できた。

また、理学女子会の活動により、女性の立場により配慮した企画立案ができるようになった。

4. 備考

本事業(3)及び(4)の実施において、京都大学男女共同参画推進センター「女子中高生向け魅力見える化コンテンツ作成等支援事業」による支援を受けた。

京大理で



京都大学 理学研究科・理学部
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE
FACULTY OF
KYOTO UNIVERSITY

学ぼ。

R4 2022

令和 4(2023) 年度
京都大学理学研究科サイエンス連携探索センター
広報・社会連携部門 取組まとめ